

地域で安全・安心なまちづくりを目指して

●問合せ 市役所交通防災課 交通・防災 G 内線 138

車両被害に遭わないために...

平成 26 年中の守谷市内の犯罪発生状況を見ると、市内全域で「車上狙い」を含む車両被害が非常に多発しています。自動車盗は、33 件（前年比 - 3 件）、オートバイ盗は 40 件（前年比 + 10 件）、特に車上狙いについては、82 件（前年比 + 15 件）と増加傾向にあります。被害の半数以上は、施錠をしていたものの、バッグや財布などを車内の目につく所に置いてあったため、被害に遭っています。

防犯グッズ（イモビライザー、ハンドルロック、タイヤロック等）を積極的に活用するのも有効的ですが、最大の防犯は一人一人の防犯意識です。

施錠はもちろんのこと、車を離れる際は、どんな短時間でも「バッグや財布など、貴重品は車内に置いていかない」という意識を持ちましょう！

●発生多発時間帯 夕方～未明（全体の約 80%）

●発生場所 自宅駐車場、月極駐車場等

●主な被害品 バッグ、財布、カーナビ等



●市内の犯罪発生状況（平成 26 年 1 ～ 12 月）

発生地域	刑法犯総数	街頭犯罪	住宅侵入犯罪	万引き	コンビニ強盗	振り込め詐欺
①	462(△24)	172(△9)	23(△20)	87(△13)	0(0)	1(△1)
②	166(+8)	77(+13)	20(0)	2(0)	0(0)	2(+1)
③	101(△34)	61(△13)	8(△8)	4(△2)	0(0)	1(△1)
合計	729(△50)	310(△9)	51(△28)	93(△15)	0(0)	4(△1)

街頭犯罪内訳

発生地域	乗り物盗			ひったくり	車上狙い
	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗		
①	15(△12)	26(+9)	93(△5)	1(△1)	37(0)
②	12(+6)	10(0)	25(△14)	0(△1)	30(+22)
③	6(+3)	4(+1)	35(△11)	1(+1)	15(△7)
合計	33(△3)	40(+10)	153(△30)	2(△1)	82(+15)

※()内の数字は、前年1～12月との比較

▶発生地域区分

- ①本町、松並、ひがし野、赤法花、同地、百合ヶ丘、中央、松ヶ丘、大柏、野木崎
- ②久保ヶ丘、御所ヶ丘、立沢、松前台、薬師台、緑、板戸井、大木、大山新田
- ③みずき野、小山、乙子、けやき台、高野、鈴塚、美園

市内の交通事故発生状況（1 月） 件数 19 件 死者数 0 人 負傷者 24 人

取手市医師会健康教室

排尿の異常

尿が近い・出にくい・間に合わない、などの排尿の症状を訴える患者は少なくありません。高齢になるにつれ、排尿障がい（頻尿）の頻度は高くなります。

男性は、ぼうこう出口部に前立腺が存在するため、前立腺の病変により、いろいろな症状が出現します。前立腺肥大症は代表的な疾患で、前立腺の腫大により排尿困難を生じるほか、尿意が過敏となり頻尿・尿意切迫感を生じることも多くあります。残尿が多くなると、尿漏れを起こすことがあります。これは前立腺肥大症の重症型です。最近増加している前立腺がんは、初期には排尿異常を生じることが少なく、進行すると排尿困難や頻尿などの症状が起ることがあります。

女性では、頻尿・尿意切迫感・尿漏れの頻度が高く、尿漏れは、咳やくしゃみなどの腹圧時に漏れる腹圧性尿失禁と、尿意を催してからトイレまで間に合わない切迫性尿失禁とがあります。

す。頻尿・尿意切迫感・切迫性尿失禁を呈する病態は過活動ぼうこうといいますが、その原因ははっきりしないことがほとんどですが、潜在的な患者は多くいます。

ふだん排尿の異常がない人が、急に頻尿、排尿時痛、残尿感などを生じた場合は、急性ぼうこう炎や急性前立腺炎を生じた可能性が高いので、早めに医療機関を受診しましょう。頻尿や痛みがなく、血尿が出た場合はぼうこう腫瘍などの悪性腫瘍の可能性があります。

前立腺肥大症の治療は、薬物療法で症状の改善を図るほか、薬による前立腺の縮小治療も行われています。過活動ぼうこうの治療は主に薬物療法です。

排尿障がいの原因はさまざまですが、症状が持続する、あるいは急に症状が出現した際は、診療を受けましょう。症状が出にくい前立腺がんは血液検査（PSA）で早期発見が可能です。早期受診・早期治療を目指しましょう。